

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2011-160993(P2011-160993A)

【公開日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2011-034

【出願番号】特願2010-27033(P2010-27033)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月30日(2012.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動領域を遊技媒体が通過した後に、可変表示の開始を許容する開始条件の成立に基づいて、各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示手段を備え、該可変表示手段に特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記始動領域を遊技媒体が通過可能な第1状態と当該遊技媒体が通過不能な第2状態とに変化する可変入賞装置と、

前記始動領域を通過した遊技媒体を検出する始動入賞検出手段と、

遊技制御処理プログラムに基づき遊技機における遊技制御を実行する制御用CPUが内蔵された遊技制御用マイクロコンピュータと、

前記遊技制御用マイクロコンピュータに内蔵又は外付けされ、乱数値となる数値データを生成する乱数回路とを備え、

前記乱数回路は、

数値データを予め定められた手順により更新して出力する数値更新手段と、

前記数値更新手段から出力された数値データを前記乱数値として取り込んで格納する乱数値格納手段とを含み、

前記遊技制御用マイクロコンピュータは、

前記始動領域を遊技媒体が通過したときに、前記乱数値格納手段から前記乱数値を読み出す乱数読出手段と、

前記開始条件が成立したことに基づいて、前記乱数読出手段によって読み出された前記乱数値を用いて、前記特定遊技状態に制御するか否かを、前記識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段による決定前に、前記始動領域を遊技媒体が通過したときに、前記乱数読出手段によって読み出された前記乱数値に基づいて、前記特定遊技状態に制御するか否かを含む所定の判定を行う始動判定手段と、

所定信号の入力に基づいて前記数値更新手段から出力された数値データが前記乱数値格納手段に格納されたときに第1の値にされて新たな数値データの格納を制限する一方、前

記乱数値格納手段に格納された数値データが前記乱数値の読み出タイミングにて前記制御用CPUにより読み出されたときに第2の値にされて新たな数値データの格納を許可する所定のデータと、

前記始動入賞検出手段によって遊技媒体が検出されたときに、当該遊技媒体が前記始動領域を通過したことを示す入賞データをセットする入賞データセット手段と、

前記可変入賞装置が前記第2状態であるときに、前記始動入賞検出手段によって遊技媒体が検出されたか否かを判定する異常入賞判定手段と、

前記異常入賞判定手段によって遊技媒体が検出されたと判定されたことに基づいて、前記入賞データセット手段によって設定された前記入賞データをクリアする入賞データクリア手段と、

前記入賞データクリア手段によって前記入賞データがクリアされるときに、前記乱数値格納手段に格納された数値データを読み出すことにより前記所定のデータを第2の値にするクリア時読み出手段と、

前記可変入賞装置が前記第1状態から前記第2状態に移行することに基づいて、所定のタイマをセットするタイマセット手段とを含み、

前記入賞データクリア手段は、前記タイマセット手段によってセットされた前記所定のタイマがタイムアウトした後に前記始動入賞検出手段により遊技媒体が検出されたことに基づいて前記入賞データセット手段によりセットされた前記入賞データをクリアし、

さらに、前記始動判定手段による判定結果に基づいて、当該判定対象となった可変表示の前記開始条件が成立する以前に、特定演出を実行する特定演出実行手段を備える、

ことを特徴とする遊技機。